

# JFEシビル九州支店

基礎杭と柱

# 一体化工法を拡販

## メタルビルで採用拡大

【福岡】JFEシビル九州支店（辰田広一 支店長）は基礎杭と柱の一体化工法である「いちいち基礎工法」を用いて、メタルビルの拡販に注力している。同社は現在までに同工法で64件を施工し、このうち九州支店は9件を施工した。いちいち基礎を提案すること、商業施設や食品工場、鶏卵選別工場

など広い分野でメタルビルの採用が広がっている。いちいち基礎工法は、基礎杭と柱を一体化させることで、基礎と杭本数を低減する工法（一柱一杭工法）。コストダウンと工期短縮が図れ、掘削土量が少なく環境に優しいことが特徴。鋼管杭に加え、PHC（プレストレスト高強度コンクリート）杭にも対応する。最近の案件では、鶏卵選別工場では杭数が半分の27本に、スーパーマーケットの店舗向けでも29本と半減し、従来工法より杭本数の低減を実現している。職人不足の中、型枠工事・鉄筋工事が80%低減するというメリットも大きい。

同支店ではメタルビルと自走式立体駐車場

に注力しており、いちいち基礎工法とワンパッケージで営業することで、受注が伸びている。

近年では量販店やスーパーマーケットなど商業施設での受注が増えている。特に業者が新規出店するにあたり、メタルビルを指定するケースが相次いでいる。

同支店は今後もうこうした特徴をモネコンや施主（最終ユーザー）に説明して、受注数を増やしていく方針。

メタルビルはコスト、耐久性、断熱性、遮音性に優れ、短工期で設計自由度が高いという特徴を持つ。フレキシブルな外壁デザインと、鉄骨の経済設計

といいちいち基礎によるコスト低減が受けて、

同支店では今後もうこうした特徴をモネコンや施主（最終ユーザー）に説明して、受注数を増やしていく方針。

同支店では今後もうこうした特徴をモネコンや施主（最終ユーザー）に説明して、受注数を増やしていく方針。